

パソコンバンクサービス(外国為替版)・
コンピュータバンクサービス(外国為替)をご契約中のお客さま 各位

2023年4月
株式会社 三井住友銀行

AnserDATAPORT®を利用した外為ファームバンキングサービスの ISO20022対応について

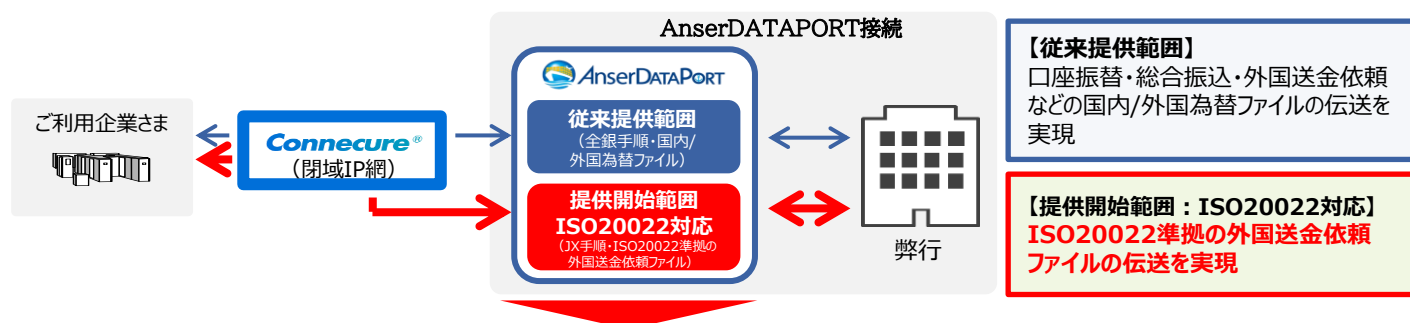
平素より三井住友銀行をご利用いただき、誠にありがとうございます。
弊行では、AnserDATAPORT接続にて外国送金サービスをご利用のお客さまに対して、ISO20022対応版のAnserDATAPORT®を利用することで、2025年11月以降も外国送金の依頼受付を可能とする予定であることをお知らせいたします。

1. 背景

- 外国送金にかかる代表的な決済ネットワークで、銀行間の国際金融取引を仲介するSWIFT(国際銀行間通信協会)は、外国送金に用いるデータフォーマットについて、新規格(ISO20022という金融サービスに関連するデータフォーマットを規定した国際標準規格)を採択し、2025年11月までに現規格からの移行を完了させる旨を発表しております。
- これに伴い、世界各国の金融機関 および 金融機関に対して外国送金を依頼されるお客さまは、新規格を用いた外国送金を可能とするため、2025年11月までに、データフォーマットや伝送手順の変更等(以降、ISO対応という)を実施する必要があります。その一環として、各金融機関では、インターネットバンキング・ファームバンキングサービスの改定を進めております。

2. 対応概要

- 日本からの外国送金指示を行うことが可能な弊行のファームバンキングサービス「AnserDATAPORT接続」では、お客さまの会計・財務システムと銀行システム間のデータ伝送について、株式会社エヌ・ティ・ティ・データが提供するAnserDATAPORT®を利用しております。
- この度、株式会社エヌ・ティ・ティ・データが、2024年度下期にISO対応版のAnserDATAPORT®を提供すると発表したことを受け、弊行では、AnserDATAPORT®を接続方式として外国送金サービスをご利用のお客さまについて、2025年11月以降も、ISO対応版のAnserDATAPORT®を利用した外国送金の依頼を受付可能とする予定です。



「AnserDATAPORT接続」をご利用のお客さまについて、2025年11月以降も
ISO20022準拠の外国送金の依頼を受付可能となります

※AnserDATAPORT®は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データにおける登録商標です。
※Connecure®は、株式会社エヌ・ティ・ティ・データにおける登録商標です。

3. 今後の予定

- AnserDATAPORT®のISO対応を受けた「AnserDATAPORT接続」の利用方法の変更点については、以下のホームページにてご案内いたします。

<https://www.smbc.co.jp/hojin/eb/computerbanking/anserdataport/iso20022/>